

# 第1学年 算数科

## ひきざん

### ① 授業の内容

12-3の繰り下がりのあるひきざんの計算で、ひく数を分解して計算する方法（減々法）があることを知り、計算の仕方について理解を深めました。

○学年 目指す児童像

自分の考えをもち、書いたり発言したりできる子



### ②場の工夫

視覚的に考え方を理解しやすくしたり、深めたりできるように、学習内容の確認・定着場面で、ICT機器を使用して、児童の考え方を確認できるように工夫しました。



### ③教材の工夫

児童にとって身近で解決の必然性がある問題にするために、具体物を使用したり、児童に問題の数値を決めさせたりしました。

また、具体物を提示したり、実際に操作させたりすることで、問題を把握しやすくし、児童が考え易いようにブロック等を必要に応じて使用できるようにしました。



### ④成果（児童の変容）

具体物を使用することで、算数に対して苦手意識が強い児童も抵抗が少なく課題に取り組むことができました。

また、計算の仕方に名前をつけたことにより、加減法と減々法の計算の仕方の違いについて理解することができました。